

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体				
みなみかぜ交流広場事業		地域福祉課とギャラリーみなみかぜ(南区障がい者作業所)				
事業目的	事業内容	活動指標	H28	H29	H30	
障がい者と交流の場を設けることで、区民の障がい者に対する理解を深め、区民がともに支えあう地域福祉の充実につながるができる。	南区役所1階みなみかぜ交流ひろばにて、障がい者支援施設における活動のパネル展示や喫茶の運営、お菓子や小物等の授産製品の販売を行う。区民が参加できるもちつき大会や記念イベントとしてミニコンサートを実施する。また、啓発の一環としてみなみかぜ交流ひろばのパンフレットを作成し、配布する。	「ギャラリーみなみかぜ」 実施事業内容	平日に製品販売・喫茶コーナー、啓発のための展示、もちつき大会や記念イベントの実施	平日に製品販売・喫茶コーナー、啓発のための展示、もちつき大会や記念イベントの実施	平日に製品販売・喫茶コーナー、啓発のための展示、もちつき大会や記念イベントの実施	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性			
◎ 障がい者の理解を深めるための事業として、行政と障がい者支援施設が連携を図る必要がある。	○ 障がい者支援施設と行政が、事業の企画・実施・運営に関し、意見を交えながら実施している。	○ 区役所1階の交流ひろばで事業を実施することで、区民にとって開かれた場になっている。また、ひろばにキッズスペースを設け、障がい者の方から子どもが過ごせる場になっている。	◎	製品の販売や喫茶の運営により、自主製品の売り上げは、障がい者支援施設で働く障がい者の工賃となっている。交流ひろばで啓発のためのパネル展示や実際に働く障がい者と接することにより、障がい者の生活や活動を知ってもらう機会につながっている。		
⑤自立発展性	総合評価					
○ 運営は、月に1回障がい者支援施設が集まり、企画等について会議を行っている。その会議の結果をふまえ、月に1回行政職員とギャラリーみなみかぜの代表者が運営についての会議を実施している。	○	行政と障がい者支援施設が連携し、区役所1階の交流ひろばで製品販売や喫茶、パネル展示を行うことにより、障がい者の活動が区民にとって身近な存在になっている。また、もちつき大会やコンサートを行うことにより、障がい者や子ども、区民が活動をともにする機会となっている。				
今後の方向性(課題、改善提案等)						
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;"> 拡充 継続 見直し 廃止 </div>	今後も、みなみかぜ交流ひろばを主体とし、障がい者と区民が活動をともにする機会を提供し、啓発につなげていきたい。					